

第1回宗像市地域公共交通会議会議録

日 時	平成25年7月26日(金) 10時00分～11時10分
場 所	市役所本館304会議室
出席者	【委員】永尾英信、牛嶋賢一(嘉村代理)、大枝良直、福澤好展、森 正彦、片山忠和、花田俊六、権田要助、前田 誠、大嶋長治、早川正史、貫 一字 原田勝子、平田恵美、峯 久子 【事務局】大隈課長、高山係長 松山 小島
報 告	1) ふれあいバス・コミュニティバスの利用状況について 2) 携帯版時刻表の作成について 3) 利用促進策について 4) 赤間地区コミュニティバスの試験運行について
議 題	ふれあいバスアンケート調査について
その他	今後のスケジュール等について

1 会長あいさつ

今年の3月11日以来の会議となります。まず、嬉しいお知らせをしたいと思えます。今年4月から路線の見直しを行いまして、ふれあいバス、コミュニティバスが新しい路線で運行を開始しました。3ヶ月間ではありますが、ふれあいバスの利用者数は前年比106.2パーセント、コミュニティバスに至っては141.4パーセントと非常に利用が増えております。昨年みなさまから貴重な意見をいただいて見直した結果であると考えております。改めてお礼を申し上げます。

今年度の会議では、利用促進策の実施の検討、赤間地区コミュニティバスの本格運行についての議論が主になってくると思います。より良い公共交通の構築に向けて、活発なご意見をいただき、100パーセントに近づくような公共交通体系を構築したいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

2 前回会議録の確認

事務局から説明

意見なし

3 委嘱状の交付・自己紹介

4 報告

1) ふれあいバス・コミュニティバスの利用状況について(資料2、2-②、2-③)
(事務局)

平成24年、25年の4月から6月で利用者数を比較しました。ふれあいバスについては、利用者数が1系統、2系統ともに増加しています。3系統については減少し

ていますが、4月の路線改定により2系統と3系統を右回り、左回りとして運行しているため、2系統に移行していると考えられます。コミュニティバスについては、特に池野・岬地区が増加。全体としても1,000人から2,000人近く増加しています。

資料の2-②、2-③について、利用者数は増加していますが、運賃収入は増加していません。原因としては、70歳以上の利用者の増加、また運転免許証を自主返納していただいた方に交付している2万円分のバス回数券の利用が増えていると考えられます。

(永尾会長)

コミュニティバスの中でも、特に池野・岬地区の利用者数が増加しています。地元の反応はどうか？

(早川委員)

路線・時刻表の改定前は、主要施設への乗り入れが少ないので利用者数は少なかったですが、改定後、バスが主要施設に行くようになって、便利になったと喜ばれています。4月から6月の利用者数は増加しているので、時刻表等周知できれば、さらに増加すると思います。

(永尾会長)

利用状況について、質問があればどうぞ。

(権田委員)

前年は1台あたり利用者数が3.2人、今年度に入ってから増加しています。ただ運賃収入は、70歳以上の方が半額の100円で乗車できるので増加しないのではないだろうか。改定後の路線・時刻表について、喜ぶ声は電話等でコミュニティに連絡があっています。

(嘉村代理)

ほとんどの自治体はコミュニティバスの実績が伸び悩んでいますが、池野・岬地区は非常に伸びています。事務局としては、何が要因と考えていますか。

(事務局)

当初はコミュニティバスということで、みなさんのお住まいの地域内を運行しており、池野・岬地区についてはサンリブまで乗り入れをしていませんでした。しかし、利用者からサンリブへの乗り入れの要望が多かったため、今年の4月に路線の見直しを行ったこと一番の要因と考えています。

他のバスについても、サンリブ・ゆめタウンの乗り入れの要望が多かったため、乗り継ぎの拠点として路線を改定し、乗り継ぎ可能な時刻に改定した結果、全体的に利用者数が増加したと考えています。

(権田委員)

池野・岬地区のコミュニティバスの利用者が増えましたが、西鉄バスの利用者数に変化はありましたか？

(福澤委員)

今のところは、収入は減っていません。

(永尾会長)

事務局から説明があったとおり、利用者が増加しているが、運賃収入が増加していない理由については、70歳以上の利用者の増加、運転免許証返納された方に交付している2万円分の回数券の利用が増えているのではないかと考えられます。

それでは、(2) 携帯版時刻表について説明をお願いします。

(事務局)

前回の会議でお知らせしていましたが、携帯版時刻表が完成しました。各コミュニティ・センター、ユリックス、メイトムに設置しています。次回作成する際は、パスポートくらいのサイズにしたいと考えています。

(永尾会長)

各コミュニティ・センターに設置しているとのことだが、十分行き渡っていますか？

(権田委員)

サイズが小さく高齢者は読みづらいので、コミュニティ・センターに来られた方には拡大コピーしたものをお渡ししています。

(永尾会長)

来年は携帯版時刻表も底を尽きると考えられるので、携帯できる範囲のサイズで、文字が大きくなるようにしたいと考えています。

それでは、(3) 利用促進策について説明をお願いします。

(事務局)

前回の会議で提案していた利用促進策で、現在進行しているものを報告します。現在進行しているものについては、太字で記載しています。

PR活動として、9月1日号の市広報紙、9月号のコミュニティの広報紙で掲載することになっています。バスの空間利用については、9月1日号の市広報紙で車内広告募集を行います。作品展示については、警察が募集する防犯ポスターの中で、表彰作品を10月以降に車内に展示する予定となっています。

(永尾会長)

利用促進策については、3月12日の会議でご議論いただき、決まった内容。利用促進策について、ご質問があればどうぞ。

(平田委員)

地域への広報紙への掲載は、依頼済みですか？

(事務局)

依頼済みです。

(永尾会長)

利用促進策を実施して、どういった利用に繋がるか、バスの周知に繋がるかを検証し、これを踏まえて次年度路線・時刻表の見直しを行います。今回は、この案で実施します。

(4) 赤間地区コミュニティバスの試験運行について説明をお願いします。

(事務局)

現在、試験運行を実施している赤間地区コミュニティバスの乗車人数を次第に記載しています。

赤間地区コミュニティ運営協議会会長である前田会長から現状の報告をお願いします。

(前田委員)

乗車数としては、平均的に500人弱。アンケート等で要望を踏まえ、バス停の一部移設や運行の形態を変更し、8月1日から路線改訂します。現在、その周知を行っています。アンケート調査の結果、赤間駅への停車の要望が多かったです。赤間駅北口側への停車を検討する等、利便性の向上のため、協議しています。

時刻表の作成については、一便は通院のための利用を想定していましたが、利用者が少ないです。商業施設が開店するお昼前後のバスの利用者は多いです。現在、市が

運行しているコミュニティバスの朝の時間帯の利用者数について教えてください。

もう一つは、満員になって積み残したということはないですが、満員に近い状態になっているので、満員になった際の対応を検討できていないです。

今後は利用者数の少ないバス停の廃止の検討、現在の利用者数は約500人であるので、利用者数を増加させるべく、PR活動を行っていきたいと考えています。

(永尾会長)

朝の便については、思っていたよりも利用者が少ないとのことですが、事務局側で参考になるようなデータがあればお願いします。

(事務局)

ふれあいバスの1系統は、7時半頃に赤間駅に着きます。その便については、常時、通勤のための利用者が10人前後いらっしゃいます。それ以外の路線については、ほとんど乗車していません。ふれあいバスもコミバスも様々な場所を回って行くので、西鉄バスを利用すれば10分程度で行く場所も、ふれあいバス等を利用すると30～40分掛かり、時間を気にしている方に関しては西鉄バスを利用している状況です。

(永尾会長)

赤間地区コミュニティバスは試験運行ということで、ご苦労が多いと思いますが、試行錯誤を繰り返しながら、来年4月の運行に向けてよろしくお願いします。

(前田委員)

実は、もう一年試験運行したいという話があるそうです。バスの運転手がまだ乗車しても良いと言っていると事務局側が聞いています。どちらにしても早く結論を出さないと申請等があるので、直接、バス運転手に確認したいと思っています。

(永尾会長)

ありがたいことですね。ただ、事故の対応や他のバスは有料等、バランスの問題がありますので、この会議の中で協議をしながら決定していきます。

それでは、議題に入ります。議題(1)のふれあいバスアンケート調査について、事務局からお願いします。

(事務局)

今年度もふれあいバスアンケート調査を行います。事務局でアンケートの内容を作成しています。4月に路線、時刻表を改訂したことによる効果の確認をしたいと考えており、項目としては、1で利用者の情報、利用目的については、昨年までは買い物、通院等、具体的な施設名を確認していなかったなので、施設名を書けるようにしていま

す。目的地に行くまでの乗り継ぎについては、利用促進策の検討するためのデータが得られるのではないかと考えています。

調査については、ふれあいバスに調査員を乗車させ、乗客に聞き取りし、調査員がアンケート用紙に記入する方法です。

調査日は例年、平日・土曜・日曜の3日間実施していますので、今年度も同様に行いたいと考えております。

内容をご覧いただき、ご意見をお願いします。

(永尾会長)

アンケート調査の結果については、今後の見直しの基礎資料として利用しようと考えております。アンケートについて、お気づきの点がありましたらお願いします。

(花田委員)

1(4)住所については、住所を聞けばコミュニティ地区は分かるので、コミュニティ地区名は不要ではないでしょうか。

2(6)バスを利用する理由については、内容を見直すか削除も含めて、検討した方がよいのではないのでしょうか。

(事務局)

1(4)住所に関しては、具体的な住所を書かれては困ることもあるし、できるだけコミュニティ地区を記入していただいた方が、集計しやすいということもあるので、「1.宗像市」の括弧の後をコミュニティだけにする方向で検討します。

2(6)バスを利用する理由に関しては、免許証を持っていない方の利用割合がどれくらいなのか、自動車を所有しているがご家族が利用しており、やむを得なしにバスを利用している割合を調査したいと考えて追加しています。アンケートの字句については、再度検討します。

(峯委員)

バスにアンケート用紙を設置し、一度持ち帰り、後日提出するという形で調査してはどうでしょうか。聞き取り調査では、数が集まらないのではないのでしょうか。

(事務局)

今まで聞き取り調査をして、500件以上回収しています。バス内では書きづらいことと、持ち帰っていただいて、次回乗車される際に回収するとしても、忘れられる方がいると考えられ、数を確実に確保するために聞き取り調査をしてきました。

しかし、峯委員がおっしゃるように、自宅に持ち帰って投函していただける可能性もあるので、併用していきたいと考えております。

(嘉村委員)

どのくらいのデータを集めるのでしょうか。

(事務局)

最低でも500は回収したいと考えています。

(嘉村委員)

目的がバスの利用促進でしょうから、利用者に調査するのは意味があると思います。可能であれば利用されていない方にアンケートを実施してみてはどうでしょうか。

なぜ利用しないのかという理由についての調査と、アンケート実施による宣伝効果を期待できます。今回は利用者のアンケートで良いと思いますが、利用者以外のアンケート調査も検討した方が良いと思います。

(事務局)

利用者以外を対象とした調査は、平成18年頃に商業施設と駅で実施しましたが、利用していない理由としては、自動車を所有しているからという理由が多かったです。

自動車がなくバスを利用したいが、利用できない方の抽出が難しく、また、アンケート結果を見ると、目的地に停車すれば利用するといった回答が多かったことから、宣伝としての効果があるとは思いますが、対象者が絞りづらいのと、今までのアンケート結果から、本当に必要としているデータが得られるのか疑問があります。

現在、調査方法等を検討していますが、何か良い方法があればご教示ください。

(永尾会長)

嘉村委員からお話があった件については、市が年に一度、市民意識調査を行っているので、項目として加えてはどうかと考えています。若い方は自動車を所有しているからという回答になると考えられるので、例えば60歳以上の方に回答を限定する等、検討する必要があります。

いずれにしても、特に利用しない方の調査については重要であるし、宣伝に繋がると思うので、調査方法を検討していきたいです。

(平田委員)

通院や買い物の曜日が決まっている方がいらっしゃると思うので、月曜から金曜の5日間調査を実施してはどうでしょうか。

(事務局)

一週間程、バス内にアンケートを設置したいと思います。

予算の関係もありますが、平日でもう一日聞き取り調査を実施できないか検討します。

(原田委員)

乗務員がアンケート調査を実施している旨の声掛けをしてください。

(花田委員)

車内にアンケート用紙を掲げるのみでは回答はないと思うので、調査員が乗車しての聞き取り調査も必要であると思います。

(永尾会長)

予算的な制約もありますが、平日の調査日をもう一日増やせないか検討します。

(森委員)

昨年も2回調査をしていましたが、今回の目的と異なる点はあるのでしょうか。どういった点が違って、どういう目的かを教えてください。

(事務局)

バス事業に関して、継続的に利用者の意見を聞くことは当然で、4月に改訂を行っているので利用者の満足度がどのように変化したのかを調査したいと考えています。

(森委員)

時刻表等の改訂による利用者の意見・効果を知りたいということですね。

(早川委員)

アンケートはふれあいバスに限定されているようですが、利用促進という意味でコミバスでも実施してはどうでしょうか。

(事務局)

コミバスは乗務員以外に9人しか乗車できないので、調査員を乗車させることによって積み残しが出る路線が、今以上に増えるのではないかと心配があります。

みなさんのご意見を伺って、コミバスでのアンケート調査も必要ということであれば、調査方法を考えて実施したいと考えております。

(大枝委員)

コミバスで調査することに賛成です。調査員を乗車させるのではなく、アンケート用紙を配布して、回収箱に投函してもらおうという形で良いのではないのでしょうか。

(原田委員)

乗務員から直接手渡ししてもらおうという形でも良いのではないのでしょうか。

(森委員)

運行を委託されているタクシー事業者としては、利用者の声を聞きたいと考えているので、積極的に実施していただきたいと考えています。お褒めの言葉ばかりが書かれている訳ではないので、回収方法については、乗務員に渡すというのは避けた方が良いでしょう。

(事務局)

利用者にアンケート用紙を渡すことは可能でしょうか。

(森委員)

可能ですが、アンケート用紙を自由に取れるようにしておくのはどうでしょうか。

(事務局)

乗務員から一声掛けていただくのは、お願いできるでしょうか。

(森委員)

それは可能です。

この場でみなさんからご了解をいただければ、方法については事務局とタクシー事業者で打合せし、ご迷惑をお掛けしない形で実施するという形で実施すれば良いのではないのでしょうか。

(原田委員)

アンケートを車内で書かなければならないのであれば、書かない方もいらっしゃると思うので、一度お持ち帰りいただくことを乗務員から伝えてください。

(永尾会長)

コミバスでのアンケートについて、ご質問・ご意見はありますか。

(花田委員)

アンケート裏面の3(2)については、複数回答可とした方が良いでしょう。

(事務局)

修正します。

(永尾会長)

まとめると、ふれあいバス・コミバスは、それぞれアンケート調査を行います。ふれあいバスについては調査方法が2つあり、調査員が土日と平日2日乗車し聞き取

る方法と、アンケート用紙を設置し、次回乗車時に投函していただく方法で実施します。

コミバスについては、アンケート用紙を車内に設置し、乗務員からアンケート調査に対する協力を声掛けしていただいて、次回の利用の際に投函していただきます。これについては、タクシー事業者と打合せをしていきます。

(嘉村委員)

アンケートの1(4)の住所については、バス停の位置を検討する必要があるので、可能であれば住所を書いていた方が良いでしょう。

バスを利用する理由については、他にも理由があると思うので、括弧書きのみにして自由に書いていただければどうでしょうか。ただし、免許証の有無については、こういったアンケート調査の際は必ず調査する項目なので、免許証の有無だけは必ず項目として設けるようにしていただきたいです。

(永尾会長)

質問項目については、いくつかご意見をいただいたので、再度事務局側で検討をお願いします。アンケート用紙については、お配りしたばかりなので、お帰りになってお気づきの点がありましたら、8月2日までに事務局に連絡をお願いします。

(大嶋委員)

アンケートの時期については8月を予定されているが、暑さで人の動きが鈍くなるのとお盆の関係もあるので人の動きが変わる時期です。この時期ではないといけない理由があるのでしょうか。

(事務局)

8月頃に実施する理由としては、赤間コミュニティバスの試験運行との兼ね合いもあり、来年4月にタクシー事業者に委託し、本格運行すると時刻表の改訂が出てきます。それに合わせて他のバスの軽微な変更をすることができるので、秋口にはアンケートの集計結果が必要となり、この時期に実施しようと考えております。赤間コミュニティバスの4月からの運行を一年先送りにするという事になれば、気候の良い時期に実施することも可能です。

(永尾会長)

6. 今後のスケジュールについてお願いします。

(事務局)

アンケート調査については、8月から10月に掛けて調査・集計・分析を行い、次

回の会議で報告を行います。今後の会議は11月上旬、来年3月中旬に開催を予定しています。

赤間コミュニティバスが本格運行するという前提にスケジュールを組んでいるので、それが変わればまたスケジュールの見直しが必要になります。

(永尾会長)

流動的な要素はありますが、基本的には今回提示しているスケジュールで進めていきます。

(平田委員)

その他でお話したいことがあります。キャンペーンの時期は、夏から秋で数日間とありますが、9月1日号の広報紙に掲載するというのであれば、秋から実施し、夏のキャンペーンについては来年からということが良いですか。

(事務局)

キャンペーンや企業との連携については、企業との調整もありますので、秋口から実施を考えています。

(平田委員)

利用者としての意見ですが、定刻前にバス停付近で待っていたが、バス停には立っていなかったときに、バスが通過してしまっていたことがありました。

コミバスが遅れて到着することも問題ではないでしょうか。コミバスに乗車しているときに、乗務員と常連客が聞き苦しい会話をしていました。そういった会話については、安全面として問題がないかを教えてください。

(森委員)

非常に難しいところがあります。黙っていると無愛想であるとの意見もあれば、話し過ぎであるという意見もあります。どちらにしても、不愉快に思う方もいらっしゃるので、私たちも十分に教育しないといけないと考えています。不愉快に思われる方がいらっしまったときは、乗務員との会議の際に話しているので、今後もそういうことがあれば、教えてください。

(貫委員)

基本的には、乗務員は余分な話をしていけない。話を続けることは避けないといけません。

(永尾会長)

コミバスは狭い範囲を運行しているので、乗務員、利用者ともにエチケットを守っていただきたいですね。

(権田委員)

年度の途中で、コミバスの路線の見直しを行うことはできないでしょうか。

(事務局)

年度途中での見直しは、時刻表等を全戸配布もしているので難しいところがあります。できれば、平成27年4月の路線改訂の際に合わせてしてください。

(大嶋委員)

アンケート項目については、乗務員についての項目を加えることは可能でしょうか。

(事務局)

検討します。当市でタクシー事業者に運行をお願いする際に、福津市が先行してタクシー事業者へのお願いをしていました。福津市の話では、始めの半年については乗務員に関する苦情ばかりだったそうです。当市で開始した際は、ほとんど乗務員に対する苦情はなかったので、乗務員のマナーはきちんとされていると考えています。乗務員の項目については、タクシー事業者と協議して検討していきます。

(永尾会長)

他にありませんか。それでは、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。

次回開催日 平成25年11月6日(水) 10:00～ 場所については後日連絡。